

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成25年5月2日 (2013.5.2)

【公開番号】特開2011-210073(P2011-210073A)
 【公開日】平成23年10月20日 (2011.10.20)
 【年通号数】公開・登録公報2011-042
 【出願番号】特願2010-78240(P2010-78240)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/048 (2013.01)

G 0 6 Q 10/00 (2012.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/048 6 5 5 A

G 0 6 F 17/60 1 7 6 A

【手続補正書】
 【提出日】平成25年3月14日 (2013.3.14)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自己が有する複数の機能の各々についての機能紹介情報を保持する保持部と、
 複数の前記機能紹介情報の中から 1 つの機能紹介情報を選択し、選択した機能紹介情報を、外部の表示装置への送信情報として決定する決定部と、
 前記送信情報を出力する出力部と
 を備えた電子機器。

【請求項 2】

前記出力部は、前記決定部により決定された送信情報を前記表示装置へ送信する送信部であり、

前記保持部は、前記複数の機能の各々についての機能説明情報を更に保持し、
 前記送信部は、

前記機能紹介情報が送信された後、その機能紹介情報により紹介された機能の使用を決定したことを表す使用決定信号が検知された場合に、その機能紹介情報に対応する機能説明情報を前記表示装置へ送信する

請求項 1 に記載の電子機器。

【請求項 3】

前記決定部により決定された送信情報を前記表示装置へ送信する送信部を更に備え、
 前記決定部は、

前記機能紹介情報が送信された後、その機能紹介情報により紹介された機能と異なる他の機能の使用を決定したことを表す使用決定信号が検知された場合に、前記他の機能についての機能紹介情報を前記送信情報として決定する

請求項 1 に記載の電子機器。

【請求項 4】

前記決定部は、使用者による現在の使用状況または操作履歴に基づいて、前記複数の機能紹介情報の中から 1 つの機能紹介情報を選択する

請求項 1 ないし請求項 3 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 5】

前記決定部により決定された送信情報を前記表示装置へ送信する送信部を更に備え、
前記決定部は、前記複数の機能紹介情報の中から２以上の機能紹介情報を選択し、選択した２以上の機能紹介情報を前記送信情報として決定し、
前記送信部は、前記選択した２以上の機能紹介情報と、それらの機能紹介情報を前記表示装置においてランダムな順序で表示させるための制御信号とを前記表示装置へ送信する請求項１に記載の電子機器。

【請求項６】

コンピュータを備えた電子機器が有する複数の機能の各々についての機能紹介情報の中から１つを選択し、選択した機能紹介情報を、外部の表示装置への送信情報として決定するステップと、

前記送信情報を出力するステップと

を前記コンピュータに実行させる情報処理プログラム。

【請求項７】

前記送信情報を出力するステップにおいて、前記送信情報を前記表示装置へ送信し、

前記機能紹介情報が送信された後、その機能紹介情報により紹介された機能の使用を決定したことを表す使用決定信号が検知された場合に、その機能紹介情報に対応する機能説明情報を前記表示装置へ送信する

請求項６に記載の情報処理プログラム。

【請求項８】

前記送信情報を出力するステップにおいて、前記送信情報を前記表示装置へ送信し、

前記機能紹介情報が送信された後、その機能紹介情報により紹介された機能と異なる他の機能の使用を決定したことを表す使用決定信号が検知された場合に、前記他の機能についての機能紹介情報を前記送信情報として決定する

請求項６に記載の情報処理プログラム。

【請求項９】

外部の表示装置への送信情報を決定するステップにおいて、前記複数の機能紹介情報の中から２以上の機能紹介情報を選択し、選択した２以上の機能紹介情報を前記送信情報として決定し、

前記２以上の機能紹介情報と、それらの機能紹介情報を前記表示装置においてランダムな順序で表示させるための制御信号とを前記表示装置に送信する

請求項６に記載の情報処理プログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

本発明の電子機器は、自己が有する複数の機能の各々についての機能紹介情報を保持する保持部と、複数の機能紹介情報の中から１つの機能紹介情報を選択し、選択した機能紹介情報を、外部の表示装置への送信情報として決定する決定部と、その送信情報を出力する出力部とを備えたものである。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

【図１】本発明の第１の実施形態に係るＴＶ装置（電子機器）およびセカンドディスプレイの配置構成を表す模式図である。

【図２】図１に示したＴＶ装置およびセカンドディスプレイの詳細構成例を表すブロック

図である。

【図 3】図 1 に示した T V 装置における機能紹介情報の送信動作の一例を表す流れ図である。

【図 4】図 1 に示したセカンドディスプレイにおける機能紹介情報の取得・表示動作の一例を表す流れ図である。

【図 5】図 1 に示したセカンドディスプレイにおける表示画面の切り替え動作を説明するための模式図である。

【図 6】図 1 に示したセカンドディスプレイにおける画面表示パターンの一例を表す模式図である。

【図 7】第 1 の実施の形態の効果を説明するための表である。

【図 8】変形例 1 に係るセカンドディスプレイにおける表示画面の切り替え動作を説明するための模式図である。

【図 9】図 8 に示したセカンドディスプレイにおける機能紹介情報の取得・表示動作の一例を表す流れ図である。

【図 10】変形例 2 に係る T V 装置における機能紹介情報の取得・表示動作の一例を表す流れ図である。

【図 11】変形例 2 に係るセカンドディスプレイにおける表示画面の切り替え動作を説明するための模式図である。

【図 12】本発明の第 2 の実施形態に係るビデオカメラ（電子機器）およびセカンドディスプレイの配置構成を表す模式図である。

【図 13】図 12 に示したビデオカメラおよび T V 装置の詳細構成例を表すブロック図である。

【図 14】本発明の他の適用例を表すマルチ画面ディスプレイおよびプロジェクタを表す模式図である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

記憶部 23 は、受信制御部 220 から供給される機能紹介情報 DM1、機能説明情報 DM2 を含め、種々のデータを保持しておくためのメモリであり、前述した保持部 13 と同様、種々の記憶手段が用いられる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

尚、ここでは、セカンドディスプレイ 2 の表示部 21 への機能説明画面 B の表示方法としては、表示部 21 の全画面に渡って表示する場合（図 6（A））を例に挙げて説明したが、表示方法はこれに限定されない。例えば、通常画面 21a の表示枠とは別に機能説明画面用の表示枠が設けられていてもよい（図 6（B））し、通常画面 21a の一部に機能説明画面を表示してもよい（図 6（C））。また、通常画面 21a の一部に表示する場合においても、機能説明画面の面積や位置等は特に限定されない。同様に、機能紹介画面 A についても、表示方法は特に限定されない。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 8 】

尚、上記実施の形態では、ＴＶ装置１が機能紹介情報ＤＭ１を送信後、使用者５からおすすめ機能Ｍの使用決定信号が検知された場合に、機能説明情報ＤＭ２を送信する場合について説明した。ところが、おすすめ機能Ｍについての機能紹介画面Ａの表示中において、使用者５は必ずしもおすすめ機能Ｍを試用するとは限らず、他の機能を利用する場合も考えられる。例えば、セカンドディスプレイ２において「番組表表示」に関する機能紹介画面Ａを表示中に、「番組表表示」に関係のない他の機能、例えば「ブラウザ機能」についての使用決定信号が検知されることもあり得る。このような場合には、送信情報決定部１４は、その「ブラウザ機能」に関連する機能（例えば、ブラウザのお気に入り機能）をおすすめ機能Ｍとして再決定し、再決定したおすすめ機能Ｍについての機能紹介情報ＤＭ１を送信情報として決定すればよい。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００４９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 9 】

続いて、上記第１の実施の形態の変形例（変形例１～２）について説明する。尚、上記第１の実施の形態と同様の構成要素については同一の符号を付し、適宜説明を省略する。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００５３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 3 】

< 変形例２ >

また、上記第１の実施の形態では、機能説明情報ＤＭ２を、使用者５のおすすめ機能Ｍの使用決定信号が検知された場合にのみ送信するようにしたが、次のように機能説明情報ＤＭ２を自動的に送信情報として決定するようにしてもよい。具体的には、図１０に示したように、ＴＶ装置１では、上記ステップＳ１１，Ｓ１２と同様にして、おすすめ機能Ｍが決定され（ステップＳ２７）、その機能紹介情報ＤＭ１，機能説明情報ＤＭ２が取得される（ステップＳ２８）。この後、機能紹介情報ＤＭ１，機能説明情報ＤＭ２が順次、自動的にセカンドディスプレイ２へ送信される（ステップＳ２９，Ｓ３０）。この際、セカンドディスプレイ２では、例えば表示部２１に機能紹介画面Ａが表示された（図１１（Ａ））後、自動的に機能紹介画面Ａから機能説明画面Ｂへ表示が切り替えられる（図１１（Ｂ））。尚、このような表示の自動切り替えは、ＴＶ装置１側からそのような制御信号を送信することにより行ってもよいし、セカンドディスプレイ２側で制御するようにしてもよい。

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００５４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 4 】

< 第２の実施の形態 >

図１２は、第２の実施の形態に係る電子機器（ビデオカメラ４）と、ＴＶ装置１Ｂおよびセカンドディスプレイとの配置構成を模式的に表すものである。ビデオカメラ４は、所定の配線４０（例えば、ＨＤＭＩ（High-Definition Multimedia Interface）、ＵＳＢ（Universal Serial Bus）等）を介してＴＶ装置１Ｂと接続されている。本実施の形態では

、ビデオカメラ４の操作に関する電子マニュアル情報（機能紹介情報，機能説明情報）が、ＴＶ装置１を経由して、セカンドディスプレイ２へ送信される。即ち、ビデオカメラ４における現在の使用状況および操作履歴等に応じておすすめ機能Ｍが決定され、おすすめ機能Ｍについての機能紹介情報ＤＭ１，機能説明情報ＤＭ２が、ＴＶ装置１Ｂを通信手段として経由し、セカンドディスプレイ２への送信されるようになっている。

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００５６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００５６】

（ＴＶ装置１Ｂ）

ＴＶ装置１Ｂは、表示部１１、表示制御部１１０、保持部１３Ｂ、送信部１５、送信制御部１５０、操作検知部１６、送受信部１９および送受信制御部１９０を備えている。即ち、図２に示したＴＶ装置１において、保持部１３の代わりに保持部１３Ｂを備えると共に、送受信部１９および送受信制御部１９０を更に備え、表示内容決定部１２および送信情報決定部１４を省いたものとなっている。

【手続補正１１】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００５９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００５９】

（ビデオカメラ４）

ビデオカメラ４は、送受信部４１、送受信制御部４１０、保持部４２および送信情報決定部４４を備えている。

【手続補正１２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００６０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００６０】

送受信部４１は、検知データＤＦをＴＶ装置１Ｂの送受信部１９から受信すると共に、機能紹介情報ＤＭ１，機能説明情報ＤＭ２をこの送受信部１９へ送信する機能を有している。送受信制御部４１０は、この送受信部４１における送受信動作を制御するものである。送受信制御部４１０はまた、検知データＤＦ、機能紹介情報ＤＭ１，機能説明情報ＤＭ２をそれぞれ、送受信部４１と、保持部４２または送信情報決定部４４との間で受け渡す機能も有している。

【手続補正１３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００６５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００６５】

一方、ビデオカメラ４では、送受信制御部４１０において、検知データＤＦをそれぞれ受信し、送受信部４１０および保持部４２を介して送信情報決定部４４へ供給する。送信情報決定部４４は、使用者５の現在の使用状況や操作履歴等に応じて（所定の対応テーブル１３０を用いて）、おすすめ機能Ｍを決定し、そのおすすめ機能Ｍについての機能紹介情報ＤＭ１を、セカンドディスプレイ２へ送信するための送信情報を決定する。そして、決定された機能紹介情報ＤＭ１は、保持部４２から送信情報決定部４４および送受信制御

部 4 1 0 を介して送受信部 4 1 へ供給され、この送受信部 4 1 から T V 装置 1 B 側へ送信される。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 7】

上記のように本実施の形態では、ビデオカメラ 4 の使用中における、機能紹介情報 D M 1 , 機能説明情報 D M 2 の送信動作を、ビデオカメラ 4 (電子機器) 自身ではなく、T V 装置 1 B を用いて (介して) 間接的に行う。これにより、例えば電子機器自身に通信手段が設けられていない場合であっても、T V 装置 1 B を通信手段として用いることにより、上記第 1 の実施の形態と同等の効果をすることが可能となる。

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 0】

更に、上記実施の形態等では、おすすめ機能 M として、複数の機能の中から 1 つの機能を決定する場合を例に挙げて説明したが、おすすめ機能 M は 1 つに限らず、2 以上であってもよい。また、この場合、送信情報として決定された 2 以上の機能紹介情報 D M 1 は、順次あるいはランダムにセカンドディスプレイ 2 へ送信されてもよいし、セカンドディスプレイ 2 へ一括送信された後、セカンドディスプレイ 2 側の制御により順次あるいはランダムに表示させるようにしてもよい。

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 2】

1 , 1 B ... T V 装置、1 0 ... リモコン、1 0 A ... 送信部、1 1 ... 表示部、1 1 A ... 表示画面、1 1 0 ... 表示制御部、1 2 ... 表示内容決定部、1 3 , 1 3 B ... 保持部、1 3 0 ... 対応テーブル、1 4 , 4 4 ... 送信情報決定部、1 5 ... 送信部、1 5 0 ... 送信制御部、1 6 ... 操作検知部、1 9 ... 送受信部、1 9 0 ... 送受信制御部、2 ... セカンドディスプレイ、2 1 ... 表示部、2 1 0 ... 表示制御部、2 2 ... 受信部、2 2 0 ... 受信制御部、2 3 ... 記憶部、2 4 ... 入力部、2 5 ... 通信部、2 5 0 ... 通信制御部、4 ... ビデオカメラ、4 0 ... 配線、4 1 ... 送受信部、4 1 0 ... 送受信制御部、4 2 ... 保持部、5 ... 使用者、D M 1 ... 機能紹介情報、D M 2 ... 機能説明情報、D S ... 操作画面データ、D F ... 検知データ。